

信太の森ふるさと館
令和7年度秋季企画展

信太地域の牛頭天王社

—江戸時代の村の神社と吉田神道—



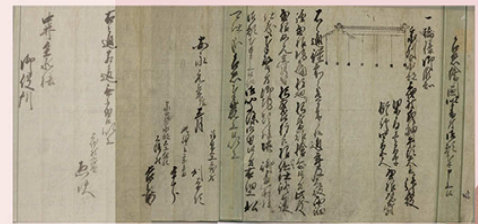
旧府神社(尾井町)



村の神社の歴史を
紹介するよ!



旧府神社で授与される
「茅の輪」(現代)



乍恐絵図以書付御願率申上候
安永元(1772)年 赤井家文書



小宮さん(上代町)

令和7(2025)年
10月3日(金)～11月16日(日)

会 場:信太の森ふるさと館 (〒594-0004 和泉市王子町914-1)
TEL/FAX:0725-45-0605 入館料:無料
時 間:午前10時～午後5時(入館は4時45分まで)
休館日:月曜日(月曜が祝日の場合は開館)、祝日の翌日



信太の森ふるさと館ぶろぐ

●関連イベント● 詳しくはチラシ裏面をご覧ください。

史跡ウォーキング—信太地域の牛頭天王社を巡ろう— 11月8日(土) 午前9時30分～12時
展示説明会 10月4日(土)・10月25日(土) 午前11時～11時30分

信太地域の牛頭天王社—江戸時代の村の神社と吉田神道—

吉田神道は、京都・吉田神社の社家である吉田家が起源の神道の一派で、江戸時代には幕府に権限を認められ、全国の神社に位階を授けたり、神職を任免したりするなど、多くの神社を支配下に置いて管理したことで知られています。

信太地域でも、幸・八阪神社の創建にあたっては、吉田家からご神体を授かっています。また、現在の上代町にあった牛頭天王社では、ご祭神に高い位を授けてもらうよう、村人が吉田家と交渉していました。

本展では、信太地域に残る牛頭天王信仰や、神社と吉田神道とのやり取りについての資料を通して、身近な村の神社を信仰していた人びとが、吉田神道との関わりから何を求めていたのか、江戸時代の信仰の一側面をご紹介します。



幣帛箱の蓋

享保三(1718)年 和泉市教育委員会蔵
吉田家から上代村の牛頭天王社に
宗源宣旨と共に授けられた幣帛箱の蓋。



「取締役規定書」

天保二(1831)年 和泉市教育委員会蔵
上代村の村座が決めた
村落内のルールを記した文書。

いっしょに秋の散策を
楽しんでみませんか？



関連イベント すべて参加費無料

①史跡ウォーキング—信太地域の牛頭天王社を巡ろう—

JR阪和線北信太駅にて集合・解散

約6kmの道のりを歩き、幸の八阪神社・尾井町の旧府神社・上代町の小宮さん(牛頭天王社のご神体を移した社)などを見学します。

日時:11月8日(土) 午前9時30分~12時(雨天中止)

定員:20名(事前申し込み・多数抽選)

申込:右の二次元コードから、または往復はがき・FAXでふるさと館へ、

住所・氏名・電話番号を記入の上、10月23日(木)必着でお申込みください。



お申し込みはこちら

②展示説明会

日時:10月4日(土)・10月25日(土) 午前11時~11時30分(受付は10時半より開始)

定員:各30名(先着順)

申込:不要、当日直接会場へお越しください。



交通 & アクセス

- JR阪和線北信太駅南へ徒歩20分
- 南海バス北信太駅南より「鶴山台方面」行き乗車「鶴山台センター前」下車数分

信太の森の鏡池史跡公園 信太の森ふるさと館

■お問い合わせ 〒594-0004 和泉市王子町914-1
TEL / FAX : 0725-45-0605
開館時間: 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時45分まで)
休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)
祝日の翌日 / 年末・年始
入館料: 無料

信太の森ふるさと館ぶろぐ

<http://shinodanomori.jugem.jp>